

別紙 3. 評価基準

1. 企画提案書についての評価点

企画提案書を別紙「提案書評価表」を元に評価した「点数」と「加重係数」を乗じた値をもって、評価委員 1 名の評価点数（最大 805 点）とし、評価委員 5 名の点数の合計点を「企画提案評価点（最大 4,025 点）」とする。

- (1) 評価点数は別紙「提案書評価表」のとおりとする。
- (2) 評価は 5 段階評価とし、下表により行うこととする。

区分	点数
優れた提案であると認められる	10
やや優れた提案であると認められる	8
浜松市が想定した内容であり、平均的な提案であると認められる（基準）	6
やや劣る提案であると認められる	3
劣る提案であると認められる	1

※ 記載なし又は「要件を満たした提案ができない」旨記載されている場合は、0 点とする。

- (3) 加重係数は評価項目の重要度に応じ、別紙「提案書評価表」のとおり設定する。

2. 機能要件チェックリストについての評価点

提案された「機能要件チェックリスト」の「係数」と「判定点」を乗じた値の合計を「機能要件評価点（最大 1,680 点）」とする。なお「必須機能」として指定する機能について判定が「×：実現不可」である場合は「機能要件評価点」を 0 点とする。

【システム機能要件チェックリストの必要度合】

- | | | |
|---|----------|--------|
| ◎ | ：必要 | 係数 9.0 |
| ○ | ：実装を期待する | 係数 5.0 |

【システム機能要件チェックリストの判定基準】

- | | | |
|---|------------------|---------|
| ◎ | ：標準機能として実現可能 | 点数 10.0 |
| ○ | ：類似する標準機能を代用して実現 | 点数 6.0 |
| △ | ：カスタマイズで実現 | 点数 4.0 |
| × | ：実現不可 | 点数 0 |

3. 最終評価点について

「企画提案評価点」と「機能要件評価点」を合計した点数を「最終評価点」とする。

4. 提案者の順位の決定方法

1. 最終評価点が最も高い者を受託候補者とする。
2. 最終評価点の満点は 5,705 点とする。
3. 最終評価点 2,850 点を最低基準点とし、それ以上の点数を得た者の中から受託候補者を特定する。
4. 最終評価点数が同点になった場合は、次の方法により順位を決定する。
 - (1) 評価項目「2 仕様書 3 業務機能要件」における合計点数が高い者を上位とする。
 - (2) (1)も同点の場合は、評価項目「2 仕様書 4-5 使用性・効率性要件」が高い者を上位とする。

多要素認証システム導入・保守業務 評価基準
別紙「提案書評価表」

提案書評価表					
No.	項目（目次項目）	評価内容	点数	加重係数	評点
表紙					
目次					
1 提案者および提案システムの概要 【プロポーザル方式実施説明書 第2章1（1）ア・イ】					
ア	会社概要について	・ 本業務に参加する全事業者について、協働する関係会社全体の相関図や役割分担が判るように記載されているか。		1	0
イ	提案システムについて	・ 提案するシステムの説明が分かりやすく記載されているか ・ 本市と同規模の自治体における業務実績があるか。 ・ 提案システムについて安定した稼働実績の実績があるか。		2	0
2 仕様書					
1	業務の背景と目的	（概要説明のため提案不要）			
2-1	調達範囲	（概要説明のため提案不要）			
2-2	受託者の条件	（概要説明のため提案不要）			
2-3	スケジュール	・ 仕様書に記載の条件を満たし、提案者が最適と考える業務スケジュールが具体的に分かりやすく提案されているか。 ・ 提案するスケジュールが浜松市にとって無理のないものであるか。 ・ 各工程の考え方や作業内容等が詳細に分かりやすく提案されているか。		4	0
2-4	システム構築方針	・ 仕様書の記載内容を十分に理解し、具体的に分かりやすくシステム構築方針に対する考え方が提案されているか。		2	0
3	機能要件	・ 「第2章 業務の背景と目的」および仕様書の記載内容を十分に理解し、有効かつ最適な提案となっているか。 （システム機能要件一覧に記載のない機能以外で、校務の効率化等に有効と思われる機能の提案は、「エ 追加提案」に記載すること。）		10	0
4-1	システム要件	・ 仕様書の記載内容を十分に理解し、具体的に分かりやすくシステム要件に対する考え方が提案されているか。		2	0
4-2	利用環境	・ 仕様書の記載内容を十分に理解し、具体的に分かりやすく利用環境に対する考え方が提案されているか。		2	0
4-3	システム利用環境	・ 仕様書の記載内容を十分に理解し、具体的に分かりやすくシステム構築に必要な機器が提案されているか。 ・ 提案されたシステム構築に必要な機器は、運用保守面を考慮した構成となっているか。		2	0
		・ 浜松市の教育ネットワーク環境を理解した構成が提案されているか。		5	0
4-4	可用性要件	・ 仕様書の記載内容を十分に理解し、具体的に分かりやすく可用性要件に対する考え方が提案されているか。		4	0
4-5	使用性・効率性要件	・ 仕様書の記載内容を十分に理解し、具体的に分かりやすく使用性・効率性要件に対する考え方が提案されているか。		10	0
4-6	セキュリティ要件	・ 仕様書の記載内容を十分に理解し、セキュリティに関する各種要件に対する方針や対策が具体的に提案されているか。		3	0
5	業務委託要件	・ 仕様書の記載内容を十分に理解し、具体的に分かりやすくプロジェクト管理要件に対する考え方が提案されているか。		3	0
		・ 本業務の作業計画が委託者に分かりやすく提案されているか。		2	0
		・ プロジェクト管理の知識と経験を有する者が、プロジェクト体制のメンバーとして提案されているか。		1	0
		・ 委託者との連絡、問い合わせ窓口が一元化されているか。		1	0

多要素認証システム導入・保守業務 評価基準
別紙「提案書評価表」

提案書評価表					
No.	項目（目次項目）	評価内容	点数	加重 係数	評点
6	開発要件	・仕様書の記載内容を十分に理解し、開発要件に対する考え方が提案されているか。		2	0
7	運用保守要件	・仕様書の記載内容を十分に理解し、具体的で分かりやすく保守運用要件に対する考え方が提案されているか。		5	0
		・本システムの保守運用業務案が、委託者に分かりやすく作成されているか。		3	0
		・効果的な職員の運用負担軽減策が、具体的に提案されているか。		5	0
8	成果物	（概要説明のため提案不要）			
9	その他留意事項	（概要説明のため提案不要）			
3 追加提案 【プロポーザル方式実施説明書 第2章1（1）エ】					
エ	本業務内での追加提案について	・仕様書に記載された業務以外に、本業務内で実現可能な、利用者にとって有益な提案が具体的に分かりやすくされているか。		3	0
4 参考見積書 【プロポーザル方式実施説明書 第2章1（1）オ】					
オ	参考見積書	・仕様書の記載内容を十分に理解し、具体的で分かりやすく参考見積が作成されているか。 ・本システムのライフサイクルを十分考慮した見積であるか。		2	0
5 その他					
	社会貢献活動等に係る認証等の有無	・企画提案書の提出期限日時点で次に掲げる認証等を保有しているか。 （加点方法） 評価項目の取得数により以下の配点とする。 1項目取得…1点 2～3項目取得…3点 4項目以上取得…5点 （対象となる認証等） （1）浜松市ワーク・ライフ・バランス等推進事業所の認証 （2）浜松市消防団協力事業所の認定 （3）浜松市高齢者活躍宣言事業所の認定 （4）健康経営優良法人の認定（経済産業省） （5）浜松市外国人材活躍宣言事業所の認定 （6）浜松市企業のCSR活動表彰		3	0
評価点数最大点			805	82	